

決算審査特別委員会での審査状況

平成27年度の一般会計、各特別会計（国民健康保険事業、地方卸売市場事業、後期高齢者医療、介護保険事業、温泉事業）、企業会計（水道事業、下水道事業、病院事業）決算は、9月14日、15日、16日に開催された、議員全員で構成される決算審査特別委員会で審査され、いずれも認定すべきものと決まりました。

主な質疑を要約し、掲載します。

一般会計

質問 政務活動費のチエック体制は。

答弁 各会派の収支報告書について、領収書の添付、使途基準に従っているかなどを、複数の職員で確認しています。

質問 ふるさと納税寄附に対する謝礼用の予算が増額した理由は。

答弁 謝礼の基準と内容の充実を図りました。人気の品は地ビール、和牛冷凍バラ焼き、飲むヨーグルトです。

質問 マイナンバー通知カードの受け取り拒否等の件数は。

答弁 郵送時に六通受け取りの拒否があったほか、八月末現在の未受理数は二百七通です。

質問 防犯カメラの設置状況は。

答弁 北里大学周辺の犯罪防止力向上のため、大学の北側と西側市道二カ所に設置し、費用は約百万円でした。

質問 小動物等死骸回収業務の委託先と処理件数は。

答弁 シルバー人材センターへ委託し、市役所閉庁日に二十八回出動しました。

質問 稚魚の放流場所を減らした理由は。

答弁 後藤川にニジマスを放流していましたが、他の稚魚や魚卵を食べることから、放流を自粛し、他の魚の放流も一年間休むことにしました。

質問 産学官連携事業で行われた薬用作物栽培の検証結果は。

答弁 北里大学に委託し九種類の薬草を栽培し、その中でセンキュウ、ハツカ、シソが当市での栽培に適していました。今後栽培技術を確認し、遊休農地の有効活用に取り組む考えです。

質問 官庁街通りの桜の樹齢と維持及び更新は。

答弁 樹齢は七十年から八十年です。平均樹齢を超えています。根の治療などで百年位を目指します。また、後継の苗木等を保全地区で育成し

ています。これらで更新することで、桜の通りを確保していきます。

質問 除雪機確保対策事業の金額と内容は。

答弁 八社、二千九百八十三万七千五百円です。購入金額の四分の一又は五百万円のいずれか低い額を補助しています。

質問 防災士の役割は。

答弁 民間の資格で、市では自主防災組織のリーダーとなることを期待しています。災害時には避難や避難所での過ごし方を指導することをお願いしています。また、市では防災士同士の連携にも努めたいと考えています。

質問 いじめ問題対策審議会の審議内容は。

答弁 いじめ防止の有効な対策を専門的立場から調査研究すること、重大事態発生の際には事実関係を調査し報告することです。年三回開催し、委員からは取り組みが適切であること、今後も予防に努めてほしいと意見がありました。

質問 郷土学習充実事業の内容と対象は。

答弁 子供たちの郷土愛を育むために、十和田湖や奥入瀬溪流散策等の校外学習に補助しています。十和田湖小学校を除いた四、五年生を対象で十一校四百六十八名が参加しています。

特別会計

(温泉事業)

質問 温泉のパイプラインの事故が発生したが、耐用年数と今後の見通しは。

答弁 現在のパイプラインは二十年以上経過していますので、更新時期と認識しています。公共施設等総合管理計画の中で協議したいと考えています。

企業会計

(水道事業)

質問 滞納している水道料金の徴収方法は。

答弁 督促状、催告書を送付しても支払いがない場合は給水停止予告書を送付します。それでもなお支払いがない場合は水を止めます。ただし、納付困難な方は面談を行

い、分割で納めてもらい、滞納解消に努めています。

(下水道事業)

質問 管渠老朽化率が全事業ゼロ%だが、耐用年数は。

答弁 国土交通省が定める下水道管の標準的耐用年数は五十年です。当市で最も古い管は布設後四十二年経過したものです。

(病院事業)

質問 病床利用率が八・七%だが、今後の目標値は。

答弁 一カ月の入院患者数二百六十人を目標に、病床利用率を八〇%台にしたいと考えています。

質問 医師住宅の環境向上が医師の充足につながると思う。新たに借り上げた単身用集合住宅の利用状況は。

答弁 九戸借り上げし、現在四戸の利用です。経年劣化が進み建て替えが必要な住宅もありますが、財源の関係から、民間利用等も含め検討したいと考えています。